

【栃木県から世界へ！ JICA 海外協力隊】

2023年度2次隊栃木県各自治体への表敬訪問

国際協力機構(JICA)は、10～11月に栃木県から3名のJICA海外協力隊員を2023年度2次隊として派遣いたします。隊員は、任国への出発を前に、以下のとおり栃木県知事及び市長等を表敬訪問いたします。つきましては、貴社媒体にて、栃木県出身のJICAボランティアを県民の皆様にご紹介いただけましたら幸甚です。

1. 表敬訪問日程

表敬先	日時・場所	表敬者（敬称略）
栃木県 知事 福田 富一	2023年10月12日（木） 13：30～13：45	同県 JICA 海外協力隊員 3名 大山 慧、小曾根 敦成 稲葉 魁人
下野市 市長 坂村 哲也	2023年10月5日（木） 11：30～12：00	大山 慧
小山市 市長 浅野 正富	2023年10月6日（金） 11：15～11：30	小曾根 敦成
茂木町 町長 古口 達也	2023年10月6日（金） 15：00～15：30	稲葉 魁人

2. JICA 海外協力隊 リスト

隊員区分	氏名	職種	国名	配属先
青年海外協力隊	オオヤマ 慧 大山 慧	小学校教育	ガーナ	ガーナ教育サービスケー プコースト市事務所 アブーマC小中学校

【活動内容と抱負】

中学生のときに青年海外協力隊を知り、自分にも開発途上国の人たちに対して何かできないか、という想いを強く感じていました。それは教員になっても変わることなく心の中にあり、教育という形で開発途上国の子どものための支援をしたいと考えました。現地で生活し、現地に合った教材を開発して勉強を教えることで、人々の生活がもっと豊かになり「わかった」「できた」喜びを感じてもらえたら「将来こんなことをしたい、なりたい」という夢を与えることができると考えました。

活動内容は、現地の教員とチームティーチングで小学校高学年の算数・理科の授業を担当することです。子どもたちに学ぶ楽しさを気づかせたり、現地の教員と話し合い現地の教員が使える教材を作ったりしたいです。

青年海外協力隊	オソネ アツナリ 小曾根 敦成	環境教育	ペルー	タララ郡役所
【活動内容と抱負】 ボランティア活動を通じ、たくさんの人々の手助けになりたいと考えています。学生時代、ベトナムのセレクトショップで新商品開発を経験し、現地の人がどのようなものを必要としているかを親身になって聞き取ることの大切さ、人々のためになることが出来た時の喜びを学びました。今回、JICA 海外協力隊として、活動地域での家庭訪問や住民集会による住民啓発活動、小学校や中高校等の教育機関、NGO などの関係機関と連携した環境教育の推進をしていきたいと思ひます。				
青年海外協力隊	イナバ カイト 稲葉 魁人	野菜栽培	セネガル	ファティック 職業訓練センター
【活動内容と抱負】 私は教員を目指しており、国際社会へと変化する日本において、国際協力の魅力を伝えられる教育者になりたいと考えています。青年海外協力隊で得る新たな価値観は教育をする上で掛け替えのない経験になると思ひます。活動内容は、ファティック職業訓練センターで農業・畜産コースの野菜分野における圃場での野菜栽培の実習指導を行います。また、生徒の実習先や卒業後の就職先を訪問し、現場で求められている技術や知識を把握し、配属先にフィードバックしながら授業の質の向上に貢献します。				

3. JICA 海外協力隊とは

JICA 海外協力隊は、日本政府の ODA（政府開発援助）の一環として、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する事業です。「開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与」、「異文化社会における相互理解の深化と共生」、「ボランティア経験の社会還元」を目的としています。

日本国籍を持つ 20 歳～69 歳の方が対象となり、派遣期間は原則 2 年間。日本で培った知識や経験を活かし、開発途上国と国際協力の志を持った方々が、現地の人々とともに生活し、草の根レベルで開発途上国の抱える課題の改善・解決に貢献します。

詳細は、JICA 海外協力隊 Web サイトをご覧ください。

<https://www.jica.go.jp/volunteer/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 栃木デスク 田島 繁樹 TEL : 028-621-0777 (栃木県国際交流協会内) E-mail : jicadpd-desk-tochigiken@jica.go.jp